

<シェリル・メイナー大佐の2020年12月27日のビデオメッセージ>

今年も残りわずかとなりましたが、2020年は忘れられない一年となってしまいました。一年前、わたしたちは新しい年に期待していましたが、時が進むにつれて不安や恐れが心を飲み込んで行きました。一年の終わりは、自分の歩みを振り返りながら新しい年に期待を抱く時です。しかし、コロナ禍にあって、新しい年に目標を定めたり、夢を描いたりするのは、難しく感じられます。ですから詩編 116:1-7 の御言葉から励ましを受けたいと思います。

「わたしは主を愛する。主は嘆き祈る声を聞き、わたしに耳を傾けてくださる。生涯、わたしは主を呼ぼう。死の綱がわたしにからみつき、陰府の脅威にさらされ、苦しみと嘆きを前にして、主の御名をわたしは呼ぶ」「哀れな人を守ってくださる主は、弱り果てたわたしを救ってくださる。わたしの魂よ、再び安らうがよい。主はお前に報いてくださる」これは真理に満ちた素晴らしい約束です。神様はあなたの嘆きに耳を傾けて下さるのです。創世記では、ハガルと幼いイシマエルが砂漠で渇きのために死にかけた時、神様は親子の嘆きを聞いて天使を送って下さいました。出エジプト記では、イスラエルの民がエジプトで奴隷として酷使されていた時、神様は民の嘆きを聞いてモーセを送って下さいました。サムエル記では、イスラエルの民がペリシテ人に食料を奪われて飢饉に陥った時、神様はダビデの嘆きを聞いて助けを送ってくださり、民はペリシテ人に勝利することができました。イエス様の生涯においても、病気の人、重い皮膚病の人、悪霊につかれた人など、多くの人の嘆きを聞いて、イエス様は癒しのわざを行って下さいました。イエス様は癒しのわざを行うだけでなく、嘆き悲しむ人々に優しい言葉をかけて下さいました。それがマタイ 11:28-29 に記されています。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる」あなたが弱り果てる時、イエス様は「さあ、わたしのもとに来なさい」と招いて下さいます。どうか、あなたの疲れた魂にイエス様が与えて下さる癒しを受け取って下さい。そして、新しい年に向かうための希望を抱きましょう。神様はあなたの祈りを聞いて応えて下さる御方です。そう確信するならば、わたしたちは新しい年への希望を抱くことができるのです。2021年がどんな年になるか、わたしたちにはわかりません。しかし、神様が共にいて下さることを確信して、希望を持って生きることができます。どうか新しい年、神様に期待して行きましょう。みなさま、どうか良い新年をお迎えください。